

# 音楽 第3学年

## 1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら、よさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし音楽に親しんでいく態度を養う。

## 2 評価の観点とその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について <u>理解</u> している。 (表現・鑑賞)  創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な <u>技能を身に付け</u> 、歌唱、器楽、創作で表している。 (表現)	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を <u>知覚</u> し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 (表現・鑑賞)	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。  (表現・鑑賞)

## 3 評価の観点と評価方法

評価方法	1～3学期			
	授業観察	プリント	実技テスト	定期考査
知識・技能	○	◎ (知識)	◎ (技能)	○ (知識)
思考・判断・表現		◎	◎	○
主体的に学習に取り組む態度	◎	○	○	○

## 4 点数配分

	知識	技能	思考・判断・表現	主体的に
授業観察				50
プリント (表現・鑑賞)	80 (鑑賞)		40 (表現) 40 (鑑賞)	100 (表・鑑)

実技テスト（表現・鑑賞）		80（表現）	40（表現） 40（鑑賞）	30
定期考査	40		40	20
総合得点 600点	200点		200点	200点

各教科における「内容のまとめ」と「評価の観点」との関係

#### A表現

- (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を工夫すること。➡第2観点
  - イ 次の(ア)と(イ)について理解すること
    - (ア) 曲想と音楽の構造や楽子の内容との関わりについて理解すること。➡第1観点
    - (イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲主に応じた発声との関わりについて理解すること。第1観点
  - ウ 次の(ア)と(イ)の技能を身に付けること。➡第1観点
    - (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能
    - (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と追わせて歌う技能

#### B鑑賞

- (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)～(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。➡第2観点
    - (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠
    - (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割
    - (ウ) 音楽表現の共通性や固有性 などについて考え、味わって聴くこと。➡第2観点
  - イ 次の(ア)～(ウ)までについて理解すること。
    - (ア) 曲想と音楽の構造との関わり
    - (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり
    - (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国のさまざまな音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性 などについて理解すること。➡第1観点

#### [共通事項]

- (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。➡第2観点（思考）
  - イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。➡第1観点（知識）

#### 2 評価の観点とその趣旨

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
--	-------	----------	---------------

# 音楽 年間指導計画（第3学年）

月	題材（教材名）	指導内容	評価方法と評価の観点
4	歌詞の内容を理解し、強弱を生かした表現 校歌 花の街 （表現・鑑賞ア/イ/ウ）	歌詞に込められた思いや、音楽の味わいと音楽を形づくっている要素とのかかわりを理解して表現を工夫する。	●知識・技能 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
5	日本の心を表す歌の味わい 花 花の街 他 （表現ア/イ/ウ）	調性や速度、強弱などの音楽を形づくっている要素の働きが生み出す歌の味わいや歌詞との関連を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫する。	知識/理解（A表現・B鑑賞）
6	リズムパターンで構成する音楽の楽しみさまざまなアンサンブル （表現・鑑賞ア/イ/ウ）	リズムパターンに関心を持ち、パターンどうしを組み合わせる演奏し、全体のまとまりを工夫して音楽を構成する。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
7	日本の伝統音楽に親しむ さくら さくら 越天楽 （表現ウ）	雅楽や能の特徴について、様式を含めて理解し、それらの特質や魅力を味わって聴く。	（A表現）
9	イタリアの心を表す歌の味わい 帰れソレントへ （鑑賞・表現ア/イ/ウ）	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。	◇授業観察/ワークシート/ 実技テスト/定期考査
10	混声合唱へのステップ。さまざまな曲想の表現 合唱発表会曲 （表現・鑑賞ア/イ/ウ）	音楽を形づくっている要素を通して、それらの働きが生み出す良さやおもしろさなどを感じ取り、楽曲の特徴や演奏のよさを批評し発表する。	●思考・判断・表現 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
11	名曲の鑑賞とプレゼンテーション ブルタバ白鳥の湖 オペラの名曲 他（鑑賞ア/イ） 世界の諸民族の音楽 （表現・鑑賞ア/イ/ウ）	諸外国の音楽に接し、それらの味わいを支えている音色や旋律、リズムなどを感じ取り、楽器の特徴を理解して聴く。	感じる/考える/わかる （表現・鑑賞）
12	世界各地の楽器の演奏を味わう ポピュラー音楽（鑑賞ウ）	さまざまなポピュラー音楽について、それらを形づくっている要素を感じ取りながら鑑賞し、表現の工夫に生かす。	◇ワークシート/実技テスト/定期考査
1	ポピュラー音楽を聴いてその特徴を味わい、表現する ポピュラー音楽 （表現・鑑賞ア・ウ）	音楽の三要素の仕組みを理解しながら表現の工夫に生かす。	●主体的に取り組む態度（表現・鑑賞） ◇授業観察/ワークシート/ 実技テスト/定期考査
2	混声合唱の喜び 卒業式の合唱	卒業式に向けて、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。	
3	（表現ア/イ/ウ）		
年間 授業数			35時間

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、授業内容を変更することがあります。